



令和7年10月6日(月)

## 秋分／寒露

9月23日(火)

は秋分の日でした。春分と同じように、昼と夜の長さが同じになる日ですね。

この日を境にだんだんと夜が長くなっていきます。

「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉通り、お彼岸が終わると秋の気候へと変わっていきます。

二十四節季の一つ「寒露(かんろ)」(10月8日〜23日頃)とは、夜が長くなり、露がつめたく感じられる頃です。大気が安定して秋晴れの日が多くなります。菊の花が満開になり、冬鳥の渡りが盛んになる時期でもあります。もう10月です。季節の移り変わりは早いですね。

## 子ども達に必要なものとは

全国学力・学習状況調査の結果が7月末に公表されました。今回の調査結果で、全体として「知識・技能」の習得と、「思考力や表現力」の活用との間に大きなギャップがあること、特に自分の考えを論理的に説明する「記述式」の問題に深刻な課題があることが、改めて浮き彫りになりました。「知識や技能を覚える」段階から、「それらを活用して、論理的に考え、説明・表現する」段階へ移行する際に、多くの子どもたちが大きな壁に直面していることが明確になりました。

さて、「書くこと」とはすなわち、アウトプット、自分の考えを文字として表現することです。実社会ではかなり重要なスキルですね。筆者個人の見解ですが、書く力を向上させるには、優れた文章を読むことが欠かせないと思います。というより、優れた文章を「読む」ことか

らしか「書く」力を伸ばす術はないでしょう。「読む」「書く」は表裏一体なのです。「読む」力と「書く」力が高まれば、外部の刺激から情報を取捨選択し、自分自身の言葉で表現することが可能となってきます。そうなれば「情報の扱い方に関する事項」についても改善されることが期待できるのです。

子ども達の学力向上のための「読書」の啓発は我々教職員の命題ですが、実は家庭のご協力なくしては成り立たないものもあります。各ご家庭に於かれましては、「読書」に親しむ環境を整えて頂き、子ども達の資質能力の向上にご協力をお願い致します。

## 中学生職場体験

9月9日(火)から11日(木)に

かけて、四中2年生が職場体験に来てくれました。とても礼儀正しい2名で、教師の業務に真摯に向き合っていました。昼休みには、子ども達が遊びに誘いに来る場面もあり、おっかなびっくりの時間もあつたようです。弟や妹が府本小学校に在籍している生徒さんもいて、お互い照れくさそうにしている場面もありました。3日間の体験中は緊張されたことでしょう。将来、2名の生徒さんが荒尾市で教鞭を執る時が来ることを切に願っています。



## ようこそ校長室へ

先日、昼休みに歯磨きをしていると、入り口である男の子がプリントをもつてこちらを見えています。するとその子はこう言いました。「校長先生のお便りの裏の慣用句の意味調べをしてきました。入ってもいいですか。」どうぞと招き入れると、ぎっしりと意味が書き込まれていました。普段子どもはあまり使わない慣用句なので、聞いてみると、お母さんに手伝ってもらって、タブレットで調べたとか。それでも、家族の団らんの時間の中で校長便りが一役かっていることに大変嬉しく思ったところです。

こうして子ども達の接点が増えていくことは教師としての喜びです。

※この「府本プライド」(学校便り)の他に、校長便り「みんなの居場所」を発行しています。週2回発行し、HPにアップしています。どうぞご覧くださいませ。

## 1・2年生の芋ほり

1・2年生教室前の畑で、芋ほりがありました。「お芋ってどうやってできるの?」と言っていた子ども達が、苗植えから収穫までの本物を体験し、芋ほりとなった訳です。今度はそれぞれお家に帰って、お芋の調理でしょうか。

「食べ物育てて最後は美味しく頂く」これは食べるこの大切さと感謝の気持ち、それに関わる人たちの苦労への感謝の気持ちから府本小学校では多くの本物体験を重ねていきます。



## 4年生小代焼体験

9月30日、4年生が「小代焼ふもと窯」でろくろの体験をしました。ご飯茶碗と湯呑を作りしました。初めはおっかなびっくりでしたが、土の持つ独特の感触に心も癒されていたようでした。ものづくりの体験は心にも体にも良いようで、人間の情緒の安定にも一役かっているそうです。

小代焼は釉薬の美しさが特徴だそうです。窯元で多くの焼き物を拝見し、一つ一つが持つ「趣」に感動しました。

数か月後、焼きあがった物は歩け歩け大会で販売されるそうです。楽しみです。



## 不審者対応避難訓練

24年前の大阪で、とても悲しいつらい事件がありました。小学校に不審者が侵入し、凶行に走った事件です。現職教師に対し、非常に大きな衝撃と危機管理を問う直す機会を与えた事件でした。あれから長い年月が流れ、人々の記憶から消えてしまいうことが最も大きな危機ではないでしょうか。

府本小学校では10月1日に、不審者対応避難訓練を行いました。本校でも事件が起こる可能性はゼロではありません。起こり得る危機に対して危機感を共有し、子ども達も教職員も、臨機応変に行動できる集団でありたいと思っています。



## ランチミーティング

子ども達とランチミーティングをしています。各委員会の子ども達と学校の課題や課題解決のためにやってみたいことなどを共有することで、自分たちで学校生活をより良くしようという取組です。子ども達をお客さんにせず、多くの活動において主体者としての役割を経験してほしいと願っています。

給食を食べながら、堅い話ばかりではなく面白おかしくミーティングしています。子ども達ならではの視点から、筆者も学んでいます。



## 編集後記

先日、府本地区協議会主催の芋ほり大会がありました。筆者も地域の一員として、準備に参加させて頂きました。筆者の母方の実家で、若い頃よく手伝いに行っていたのですが、耕耘から収穫までの作業は、それはそれは大変なものです。畑の広さからそれがすぐ伝わってきました。併せて、府本地区協議会の心意気とても言いましようか、情熱が伝わってきて、お手伝いをしながら感謝の気持ちがい沸き上がり、心地よい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。